

dream チーム

| | | |
|-----------|---------------|---------------|
| 5月2日 | 第1回実行委員会 | 青少年センター |
| 5月22日 | 第2回実行委員会 | 青少年センター |
| 6月18日 | 第3回実行委員会・募集開始 | 青少年センター |
| 7月6日～7月7日 | 合宿 | 野外活動センター |
| 7月10日 | 第4回実行委員会 | 青少年センター |
| 7月21日 | 松山空港見学に内容確定 | 久米公民館 |
| 8月10日 | タルト試作 | 久米公民館 |
| 9月28日 | 空の日フェスタ | 松山空港 |
| 10月25日 | タルト作成 | 久米公民館 |
| 10月26日 | 松山空港見学 | セスナ機事故のため視察中止 |
| 12月23日 | 松山空港見学 | 松山空港 |
| 3月9日 | 合同発表会 | 青少年センター |

毎年、中学生、高校生、大学生でチームをつくり、「何をしたいか」考え実行に移します。今年も高校生・大学生の応募がありませんでしたが、中学生が8人。若い力でがんばりました。

Dreamチームは「空港に行きたい、飛行機を見たい、飛行機整備の仕事を知りたい」というみんなの気持ちを受けて、空港見学をすることにしました。



子どもたちの感想

らこちゃん

私たち dream チームは、松山空港のイベントに参加したり、松山空港の内部を見たりしました。松山空港のイベント「空の日フェスタ」では、私はたくさんの飛行機に関わる仕事を見ることができました。一番興味を持ったコーナーは、気象のコーナーです。そこでは、台風・雷などの起こる仕組みを、装置を使って簡単に説明してくれました。ちょっとした天気が飛行機や人々に影響を与えているということを改めて感じました。

また、私たちは、松山空港の内部を見せていただくということで、手土産として手作りのタルトを作りました。作り方は簡単だけど、あんを練るところや、生地を型から取り外し、上手に巻くところが難しかったです。喜んでもらえて良かったです。

松山空港の内部は、関係者以外立ち入り禁止で普段は許可されませんが、特別に JAL の協力のもと外から見えない仕事や専用の機械などを見せていただきました。STC (ステーション) では、天気図を見たり、モニターに映る飛行機の航路を見たりします。またここでは、パイロットや整備士の会議の場でもあり、管制官やパイロットと連絡をしようとして聞いて、時間通りに飛行機を飛ばすということがどれだけすごいことなのか分かりました。ここで驚いたのは、航空機の近くまで行けたことです。音と風がとてもすごく桁違いに大きく、大変な仕事だと思いました。また、JAL の職員は LCC のジェットスターも兼ねているの

で移動が大変そうでした。

この体験を通して、安心・安全な飛行機を飛ばすのに、たくさんの人の仕事が一体とならなければならないということを強く感じました。



イノちゃん

今回、私達は、空港について調べることにしました。

一番初めの合宿では、震災について話し合っていました。難しいと思い、空港について調べることにしました。

それと一緒に、お菓子づくりを行いました。初めは、工場に実際に行こう、と計画していましたが、工場に入るのは難しいということだったので、自分たちで、作り方から調べました。お菓子づくりは初めてだったので、大変でした。作ったお菓子は土産として、空港に持っていきました。

そして、実際に見学を行いました。私は、別の用事で行けなかったのが残念でしたが、一緒に活動したメンバーにいろいろな話が聞けて良かったです。

今回の活動は夏から長期間で行いましたが、この期間でいろいろなことを学習できました。

ちゃちゃ

<松山空港を見学して>

今回は、空港の仕組みや、どのような仕事があるのかなどを教えてくださいました。私はその中で安全について考えました。松山空港は日本の地方空港の中で一番大きい空港で、1日に1,500~1,600人もの方が利用しています。そんな松山空港には、素晴らしいところがたくさんあります。

まず、サービス力は全国で7番目に良いそうです。主に、サービスの評価点は、安全性に優れていること、時間に遅れないこと、お客様へのサービス、採算性の4つがあります。その中でも、松山空港は、17年間無事故で全国6位という素晴らしい結果を残しています。また、平成25年度の目標は、「安全とサービスのプロフェッショナルを目指そう」です。このように松山空港は、安全第一で活動していることがわかります。日本の航空会社が一番安全だといわれるのは、松山空港のように、1つ1つの空港が安全にとっても気を配っているからだとなりました。

はーちゃん

私は、小学校の頃憧れていた、空港での仕事について、実際に見学させてもらいました。

Q 航空整備士になるには？

A 航空整備士の資格を取得するには、学科試験に合格し、法で定められた期間の整備経歴を経た後に、実地試験に合格して初めて取得できる。(※近道は、国土交通大臣指定航空従事者養成施設に指定されている航空専門学校に入学する。)

航空機について

サーブ 340B SAAB340B (SF3)

Q 燃料はどれくらい入れる？

A 機体によって異なり、往復で消費される量より多め

長く飛ばせば飛ぶほど燃費がいい！

Q 機体の大きさは？

A 全長 19.7m 全幅 21.4m 全高 7.0m

標準座席数 36席 最大離陸重量 12.9トン

Q 特徴は？

A スマートな印象が SAAB の特徴で、プロペラ機 プロペラは片方ずつ回す。

受付 (グランドホステス)

日本航空では、ジェットスターと JAL を交互に対応している。

グランドホステスになるには

英検 2 級以上、秘書検定 2 級以上、救急救命系の資格、自動車運転免許、

視力 1.2 以上 (コンタクトをして)、きれいな歯並び、メイクの技術、

髪のかげいさ、何か 1 つ自分が自信を持って誇れるもの、特技

日本航空の目標

5S (整理、整頓、清潔、清掃、しつけ)

空の日のフェスタに参加して

私が空の日のイベントで一番おどろいたことは気象体験コーナーでの「台風や雷、液状化等はどうやって起きるのだろうか」です。私は仕組みが小さいので、初めはどうやって起こるのか、説明することができるのだろうかと思いました。しかしどの自然現象も、初めて見る私であって深く納得できるものでした。ただ液状化現象はどうやって起こるのかわかりませんでした。

でもこのコーナーで体験してみて新しく学ぶことが増えたと思います。気象体験コーナーがあって気象・自然現に関するスペシャリストがいるからこそ、全国から出発する飛行機や戻ってくる飛行機が安心して空を飛ぶことが出来ると思うとすばらしいと感じました。

松山空港は ANA・JAL・JETSTAR…などたくさんの飛行機の離着陸をサポートしてきました。飛行機が一会に飛ぶのはたくさんの飛行機・空港にたずさわる人たちが協力し合っているからだだと思います。これからもずっと世界一安全な乗り物を飛ばして行ってほしいです。

空の日のフェスタに参加して、管制塔には行けなかったのはとても残念でしたが、空港のことだけでなく、気候のことや蛇口からのポンジュースなど、とてもよい勉強になりました。

その中でも、消防車への試乗や消防士の服の試着はとても貴重な経験をさせてもらいました。また、韓国服の試着もなかなかできるものではないので、とても嬉しかったです。空の日のフェスタに参加して私はとても楽しく良い勉強をさせていただきました。



アニマルふれあい隊

メンバー：

ハリー（久米中2年） ゆりりん（久米中2年） ごっち（久米中2年） なの（道後
中2年）

7月21日 in 久米公民館・宮内ふれあい動物園・県愛護センター

最初は、動物と遊んだり餌やりをしたり、世話をしたりして思いっきり触れ合いたい！ということでスタートしましたが、なかなか触れ合いの場所が決まらず、とにかくいろいろ動物のいそうなところに行ってみようと思っかけた『愛媛県動物愛護センター』。そこでたくさんの犬や猫の命が人間の身勝手さの犠牲になっている現実を知り、衝撃を受けました。この現状を市内の中学生に訴えたいと、新聞を作ることに決めました。



8月29日 in 久米公民館

活動計画立案

11月23日 in とくしま動物園

「まずは、動物と触れ合ってみよう！」ということで、四国の施設をインターネットで検索し、一番触れ合う種類が多そうな「とくしま動物園」に行くことになりました。夏の間は暑さのため実施していないので、涼しくなってから・・・そうするうちにメンバーが学校行事等で忙しくなり、ちょっと遅くなってしまいましたが、最高の秋日和。リスザル・ペンギン・馬・イノシシなどと直接餌をやったりして触れ合いました。



12月1日 in 愛媛県動物愛護センター

施設の方から、施設の概要を説明していただいた後、実際に犬や猫の様子を見学させていただきました。殺処分されて行くであろう多くの犬猫の鳴き声は、自宅に帰ってからも心の中に響き続けました。残酷なこの現状を改善するために、少しでも役に立ちたいと各自心に誓いました。

12月8日 in 久米公民館

「認定 NPO 法人えひめイヌ・ネコの会」の高岸さんを招いて、捨てられた犬や猫の飼い

主を探す活動についてお話を伺いました。つらい思いをしてきた犬や猫が二度と同じ扱いをされることのないよう、里親探しには厳しい審査が行われていることを知りました。また、去勢・避妊手術の必要性、ブリーダーの中にも動物の命を商品としか考えていない人がいることなど、熱く語っていただきました。

1月26日・2月2日 in 久米公民館

新聞作り。・・・頑張りました。出来上がった新聞は松山市内の29校の中学校に校長会を通じて配布できました。

活動を振り返って

今回、私は、動物の命について深く考えることができました。まず、とくしま動物園に行き、動物とのふれあいを楽しみました。次に、動物愛護センターに行き、動物の現状を教えてもらったり、実際に犬や猫が収容されている施設に行ったりしました。そして、犬猫の会の方にお話を聞くことができました。最後に、今までの体験や考えたことなどを新聞にまとめて市内の中学校に配ります。

1番大変だったのは、新聞作りです。私は、とくしま動物園のことをまとめましたが、どうレイアウトしたらみんなの気を引けるか、飽きずに見てくれるか、見やすいか、などに気をつけながらまとめました。みんなの分担をあわせてみると、達成感があって、やってよかったと思いました。(ゆりりん)

今回僕たちは、動物とのふれあいと命をテーマに活動してきました。まず、とくしま動物園に行き、動物とのふれあいの楽しさうれしさを味わいました。そして、愛護センターに行き、動物の実態を知ったりしていく中で、人間の身勝手なことを考えさせられました。さらに、犬猫の会の方のお話も聞いて、動物への強い想いがあふれてきました。こんなに可哀想なことを今まで知らなかった自分が、情けなく思えました。最後にそれらのことを新聞にまとめました。正直、僕はこれが動物について考えるいいきっかけになったと思います。一人でも多く僕と同じ思いをもってもらえるようにという気持ちを含めて記事を書きました。だから、みんなで書いたこの新聞が、同じ地域に住む同じ中学生の人たちの心を動かすことができればと思いました。

今までこの新聞に携わってくださった皆様、本当にありがとうございました。心より感謝いたします。これからも僕は、ここで学んだことを一生、生かしていきたいです。(ハリー)



手書きで作成した新聞はデータ化して、A1 サイズでプリントアウト。市内 29 校の中学校に配布掲示しました。

The newspaper spread is divided into several sections:

- Top Right:** A vertical banner titled '動物たちの顔合わせ' (Meeting of Animals' Faces) featuring photos of children interacting with various animals like a pig, a horse, and a cow.
- Top Left:** Photos of computer monitors displaying text, likely representing the digitalization process mentioned in the introduction.
- Middle Left:** A large section titled '動物たちの共生' (Symbiosis of Animals) with a central illustration of a child and a dog, surrounded by handwritten text and smaller photos of animals.
- Middle Right:** A section titled '動物たちの共生' (Symbiosis of Animals) with a list of five points (No. 1 to No. 5) and small illustrations of animals.
- Bottom Left:** A section titled '動物たちの共生' (Symbiosis of Animals) with photos of a child and a dog, and handwritten text.
- Bottom Center:** A section titled '命をつくり、消す人間' (Humans who create and destroy life) with photos of a child and a dog, and handwritten text.
- Bottom Right:** A section titled '動物たちの共生' (Symbiosis of Animals) with photos of a child and a dog, and handwritten text.